

ごっこ遊びを展開させる

対象：2～5歳 作成者：小城亜矢子 作成日：2018年2月6日

●保育のねらい

- ・作品展・なかよしフェスティバルで経験した宝石とりごっこ遊びを楽しむ。
- ・取った宝石を用いて、自由な製作をする。



●保育の振り返り

取った宝石を保育者と一緒に数えたり、自分で数えながら好きな宝石を選びました。(数量への関心) どんなものを作りたいか、何がどれだけいるのか自分で考え、たくさんの素材の中から選びました。始めの頃は何を作りたいか、何が必要か、失敗したらどうしようと考えてしまってた子どもたちが、今では発想豊かにイメージを広げ、工夫し、試して、やり直してと時間いっぱい楽しむようになりました。(思考力の芽生え) 出来上がった作品は、剣やキーホルダー・ネックレス・髪とめ・髪ゴム・指輪・船・小物・ロケットなど様々です。(豊かな感性と表現) 年間通して製作を楽しんできたので、ハサミやのりの扱い方、テープの切り方、素材に合わせた貼り付け方法、素材の適量加減なども上手になり、より創作意欲が広がっています。